



平成28年8月  
第31号

# 伊佐市 議会だより

宇宙少年団 ペットボトルロケット打ち上げ



## 目次

- 補正予算 ..... 2
- 委員会報告 ..... 4
- 行政調査報告 ..... 6
- 総括質疑・議決結果 ..... 8
- 意見書 ..... 9
- 一般質問 ..... 10
- 閉会中の議会活動 ..... 17
- 議会映像マルチメディア配信サービス・議会事務局職員紹介 ..... 18
- 第30号記念クイズ正解発表 ..... 19
- いさの夜空・編集後記 ..... 20

# (予算総額177億8,270万5千円) 補正予算を精査!

平成28年第2回定例会が6月1日から24日まで24日間の日程で開かれました。審議の結果、補正予算2億270万5千円は原案のとおり可決しました。6月補正予算の使い道を一部ご紹介します。

※主な補正内容・概算額で表示

## H28 熊本地震の災害復旧に人的支援を行うため、職員派遣費用を措置

1,000万円

※財政調整基金繰入 1,000万円



## 教育支援

高校部活動活性化事業【補助金】

206万6,000円

## 介護支援

92万7,000円

介護従事者の負担を軽減するために、介護ロボットを導入する事業者に対する助成費



▲介護ロボットを装着して、介護をする従事者

# 第2回定例会 一般会計2億270万5千円

## 環境対策

旧布計鉱山の鉱害防止対策

**8,800万円**

第3鉱さい堆積場の安定化を図るため、地盤改良工事を実施する。

負担割合 国3/4 県1/8 市1/8

H28 事業費 8,800万円

## 中間納付額の還付（法人市民税）

市税等過誤納還付事業

**7,000万円**

H27年度に中間納付された法人市民税の還付に備える。

## 制度改正に伴うシステム改修

**1,030万円**

### 一般会計

地方公会計制度への対応 640万円

年金特別徴収制度の見直し【市民税】への対応 230万円

### 国民健康保険事業特別会計

平成30年度国保制度改革への対応 160万円

# 各委員会報告

## 主な質疑と内容

### 農政課

補助金88万8千円

畜産クラスター事業の事業費増に伴う補助金の補正だということだが、クラスター協議会の構成は。

### 税務課

市税等過誤納還付金 7千万円

当初予算で3千万円。今回7千万円の補正だが、その根拠は。

### 財政課

備品購入費 85万9千円

印刷物のページ合わせをする丁合機と封筒に印刷物を入れ閉じる封緘機の購入理由は。

### 建設課

工事請負費 700万円

原田橋基礎工事の工法が変わったための補正だということだが、具体的な内容は。

### 林務課

林業振興費賃借料 51万3千円

竹チップパー粉碎機の借り上げ料だが、どのような用途になるのか。

### 地域総務課

備品購入費 81万8千円

本城町自治会と停車場自治会が無線放送設備を設置することへの補正ということだが、具体的には。

### 伊佐PR課

観光費修繕料 194万4千円

J A・畜産農家・配合飼料基金協会・コントラクターなど、地域の中心的な経営体が連携した協議会である。

### 総務課

委託料 637万2千円

地方公会計制度に対応する財務会計システム改修の委託。この委託の妥当性は。

当初、基礎杭の鉄筋を溶接で繋ぐ溶接工法であった。無溶接工法と鉄筋接続金具を使うよう

通達があり、積算の結果、事業費が増加したためである。

竹は現在、業者がキロ7円、これに市が2円上乗せ、9円が買い取り額である。これは竹林から持ち出されるが、竹林に相当の買取り以外の竹が残る。これをチップパーで粉砕し、竹林の整備をしていく。

市の放送を受信する戸別受信機とアンテナを設置するものと、菱刈庁舎の紙折り機と丁合機を買い換えるものである。

これは楠本川溪流公園内の給水管の布設替えで、現在地下埋設されている管を露出管にすることだが、その根拠は。

この冬の寒波で数か所で管が破裂し、破裂箇所の特定に苦勞した。今回の露出管は、ポリエチレンの50m巻きで、銅管でできたジョイントで繋ぐので、凍結しにくい。今後の管理を、安全かつ円滑に行うためである。



▲竹チップパー粉碎機



◀ 丁合機

文教厚生委員会

教育委員会 総務課

修繕料220万円増額

Q 修繕の内容は。

A 教職員住宅の老朽化が全体的に進んでいる。今回の補正は、大口小・平出水小・針持小の校長住宅の修繕である。

伊佐市下宿住宅改良補助金13万円

Q 事業内容は。

A 高校振興のために下宿住宅改修補助事業を実施している。空調設備の補助である。

学校教育課

学校教育指導監の報酬135万円増額

Q 指導内容は。

A 菱刈中学校区の小中一貫教育に関わることや、管理職研修会、あと学校教育課所管の様々な処理をしている。

備品購入費52万5千円の増額

Q 備品購入の内訳は。

A 3月の教職員の定期異動により2人の定数増があり、校務用ノートパソコンの購入費用である。

文化スポーツ課

報酬108万円増額

Q 増額理由は。

A 平成32年の国体終了時まで、国民体育大会等事務嘱託職員を継続して雇用できるように変更するものである。

環境政策課

公害対策費8800万円増額

Q 工事内容及び計画は。

A 布計鉦山の第3鉦さい堆積場の安定化対策工事を実施する。工事面積は約2500㎡で、地表から2メートルを粉のセメントを混ぜて固める工法になる。総体積としては5000㎡を予定している。

市民課

戸籍住民基本台帳費661万1千円増額

Q 事業内容は。

A マイナンバーカード関連事務を委任している地方公共団体情報システム機構への交付金の変更によるものである。

こども課

予防費208万円増額

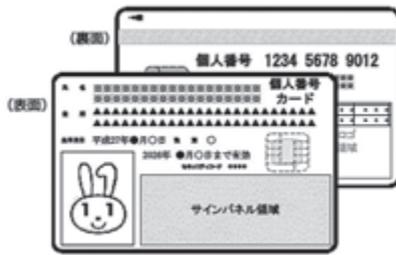
Q 事業内容は。

A B型肝炎予防接種の消耗品、業務委託料である。国が平成28年10月1日から定期予防接種とする方針になったため、追加で要求するもの。対象者は、平成28年4月以降に出生した者で生後1歳に至るまで、計3回の接種となる。

Q B型肝炎の罹患の原因は。

A 罹患には2種類あり、母親からの母子感染。あとは水平感染で、乳幼児時期の医療行為、口うつしの食事、傷口からの出血など何らかの理由でB型肝炎を持っている方の血液、体液が体内に侵入

し感染するということになる。



# 行政調査報告

## 【 総務産業委員会 】 5月9日～11日(島根県大田市／広島県広島市)

当委員会は、5月9日から11日にかけて、地方総合戦略の人口ビジョンを念頭に、島根県大田市において『定住促進について』、また、広島市では『キャンプ場を利活用したアウトドア』について調査・研修を行いました。

大田市は、2015年『住みたい田舎・総合日本一』に輝いた町であります。

人口減少が地域産業の停滞・地域コミュニティ力の低下など地域に与える影響が大きい、という視点の下に、市民はもとより市外に在住する人々に、魅力ある豊かな暮らしを提供し、Uターン者の増加につなげるという趣旨のビジョンで、25年度から30年度の5年間、年間200人・計1000人のUターン者を確保するという目標値が設定されています。直近4年間の定住者数の平均は185人と目標値を若干下回っているが、目標値達成に向けて頑張っているところだとのことでした。

ちなみに、定住に特化した事業として、15にも及ぶ事業が展開されています。

- ① 定住奨励事業では大田市へ定住する目的で住宅を取得・賃貸した場合、取得費・賃貸料の助成。プラスこども加算と若者加算がつく。
- ② 夫婦いずれも40歳未満の新婚家庭の民間住宅賃貸費用の一部を助成する、新婚さん住まい応援事業。
- ③ 定住人口の増加と、子育ての負担軽減を図ることを目的に、多世代で同居または近居を始める世帯への、多世代同居・近居支援事業。
- ④ 年間200人の定住人口の増加を図るという目標達成のため、定住対策の柱として空き家対策に4つの施策で取り組んでいる。空き家情報登録制度いわゆる空き家バンク制度。
- ⑤ 空き家改修助成として空き家活用促進事業。
- ⑥ 残存家財処分費助成事業。
- ⑦ 空き家見学ツアーの開催。
- ⑧ また、定住人口の増加と地域経済の活性化を図るため、市内の学校を卒業した方々が、市内で同窓会を開催する経費の一部を助成し、Uターンを促進することを目標としたふるさと回帰促進事業。
- ⑨ 子育て支援に関する6事業。

など、定住促進に関する事業を研修させていただきました。

次に、広島市の青少年野外活動センター・こども村について報告します。

この施設は、さまざまなアウトドア活動を知ることができました。ここでのアウトドア活動は、星空体験・農業体験・牧場見学・バードウォッチング・ウォークラリー・なわなない・わらぞうり作り・竹や木片、紙を使ったクラフト・登山など多岐にわたる活動を研修させていただきました。



ここでの行政調査の目的は、キャンプ場を利活用したアウトドアで交流人口を増やし、定住に結びつけるには、ということでした。伊佐市人口ビジョンの具体的な施策を、より実効性のあるものにしていくための事例を学びました。取り組むべき課題を明確にし、かつ真摯に取り組むべきだと感じたところでありました。

# 行政調査報告

## 【 文教厚生委員会 】 5月16日～18日(兵庫県小野市／兵庫県朝来市<sup>あさこし</sup>)

今回は5月16日から18日にかけて、ファミリーサポート・介護サポートについて兵庫県小野市を、また、空き家バンク制度について同じく兵庫県朝来市に調査・研修を行いました。

最初に、兵庫県小野市は、そろばんの生産地であると共に東隣の三木市と共に金物でも知られ、播州鎌は兵庫県の伝統工芸品に指定されている所であります。



おの育児ファミリーサポートセンターは、地域子ども・子育て支援13事業の中の子育て援助活動支援事業として、利用を希望する人からの「子育て援助依頼」に対して、援助ができる人が援助活動を行う事業です。事業委託先は小野市社会福祉協議会で、社会福祉協議会のアドバイザーが両方の相互扶助関係が円滑に実施される手助けをしています。活動開始は平成16年7月からで、対象児童は生後6か月から、活動内容は、保育所・放課後児童クラブ・塾・習い事・冠婚葬祭時・保護者の通院時等必要な時に送迎及び預かりを実施しています。

平成27年度の会員数は依頼会員が755人、協力会員が80人、両方会員が133人です。また、おの介護ファミリーサポートセンター事業は、高齢者が住み慣れた地域で安心して、自立した生活が送れるように生活支援を行う事業として平成22年10月から事業開始しました。活動の仕組みは依頼会員、社会福祉協議会のアドバイザー、協力会員の3者で、活動の依頼、活動計画書の作成、打ち合わせ・活動、活動報告書の提出となります。内容は掃除・買物・調理・話し相手・付き添い等です。活動件数は平成27年度1,218件と年度ごとに増えてきています。事業効果として、介護保険外の活動や介護保険の限度額を超えた方へ活動を通して、高齢者のニーズにあった支援ができること等があります。

次に、朝来市の空き家バンク制度について報告します。

朝来市は兵庫県の中央部に位置し面積が403.06km<sup>2</sup>、人口が3万785人と伊佐市と同じぐらいの市です。空き家バンク制度の概要は、朝来市で田舎暮らしをしたい方むけに、1. 空き家情報の提供 2. 利用登録 3. 物件の見学 4. 物件の交渉申し込み、また、朝来市に空き家を持っている方に、1. 物件の登録 2. 現地調査 3. 空き家情報の提供 4. 空き家物件の利用希望の申し込み となり、物件の交渉・契約は、利用希望の申し込みがあった場合は、一般社団法人兵庫県宅地建物取引業協会が仲介し、入居となります。ただ、空き家の件数は多いが、登録件数は家財道具が入っている等の理由で少ない現状です。この空き家バンク制度は人口減少問題に向けた一つの取り組みでもあります。



# 総括質疑

発 言 者	質 疑 事 項
畑 中 香 子	1 議案第60号 専決処分の承認を求めることについて 2 議案第61号 専決処分の承認を求めることについて
柿木原 榮 一	1 議案第64号 平成28年度伊佐市一般会計補正予算（第2号）について 2 議案第68号 伊佐市鹿児島県立大口高等学校活性化基金条例の一部を改正する条例の制定について

# 議決結果一覧表

番号	件 名	議決結果
議案60	専決処分の承認を求めることについて	承 認
議案61	専決処分の承認を求めることについて	承 認
議案62	専決処分の承認を求めることについて	承 認
議案63	専決処分の承認を求めることについて	承 認
議案64	平成28年度伊佐市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案65	平成28年度伊佐市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案66	伊佐市議会議員又は伊佐市長の選挙における選挙運動用自動車の使用並びに選挙運動用ビラ及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案67	伊佐市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案68	伊佐市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案69	伊佐市鹿児島県立大口高等学校活性化基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案70	平成28年度伊佐市一般会計補正予算（第3号）	原案可決

# 第2回定例会（6月）の表決結果

賛否が分かれた議案のみ（○は賛成、●は反対、欠は欠席）

議案番号	議 案	議員氏名																		
		森山良和	今村謙作	山下和義	森田幸一	緒方重則	久保教仁	前田和文	諏訪信一	畑中香子	沖田義一	鶴田公紀	左近充諭	柿木原榮一	福本千枝子	市来弘行	中村周二	岩元克頼	丸田和時	
68	伊佐市鹿児島県立大口高等学校活性化基金条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	●	議長のため表決には参加しない。

# 意見書の要望内容

## 地方財政の充実・強化を求める意見書

地方自治体は、子育て支援、医療、介護などの社会保障、被災地の復興、環境対策、地域交通の維持など果たす役割が拡大する中で、人口減少対策を含む地方版総合戦略の策定・実行など、新たな政策課題に直面している。一方、地方公務員をはじめ人材が減少する中で、新たな行政ニーズへの対応が困難となっており、公共サービスを担う人材確保を進めるとともに、これに見合う地方財政の確立を目指す必要がある。

こうした状況にもかかわらず、社会保障と地方財政を二大ターゲットとした歳出削減に向けた議論が進められている。特に、今年度から開始された「トップランナー方式」の導入は、民間委託を前提とした交付税算定を容認するものであり、地方財政全体の安易な縮小が危惧されるものとなっている。また、「インセンティブ改革」については無駄を省くことで予算を圧縮する狙いがある。あわせて、地方交付税制度の根幹を揺るがしかねないものである。

本来、必要な公共サービスを提供するため、財政面でサポートするのが財政の役割である。しかし、財政再建目標を達成するためだけに、不可欠なサポートが削減されれば本末転倒であり、国民生活と地域経済に疲弊をもたらすことは明らかである。

このため、平成29年度の政府予算、地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実、過疎地域や離島など条件不利地域及び自主財源に乏しい脆弱な地方の財政基盤に十分配慮するとともに、増大する地方の行政需要に対応した予算措置で地方財政の確立を目指すことが必要である。よって、国におかれては、次のとおり措置されるよう強く要望する。

平成28年6月24日

伊佐市議会

《提出先》

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣  
財務大臣 内閣府特命大臣 経済産業大臣 地方創生担当大臣

# 市民生活の 向上をめざし 一般質問 13人



**自転車の保険加入は  
教育長／小学校15%、  
中学校は義務付け**  
諏訪信一 議員

**問**

自転車は身近な交通手段、通学等に利用されているが、反面危険も伴い自分や歩行者に、けがをさせたりしている。

2013年神戸地裁では、歩行中の女性に頭がい骨骨折を負わせたとして、小学校5年生の保護者に対し、9500万円の賠償を命じる判決が出ている。小中学校の自転車の利用、保険加入率の実態は。

**答**

自転車の利用並びに保険加入の実態は、児童生徒の8割が所持、利用している。保険加入率は、小学校15%、中学校では、生徒の40%が、自転車通学なので加入を義務付けている。

**問**

全国では10万9269件の衝突事故が発生しているが、伊佐市での事故件数、ヘルメット着用、自転車に乗れる学年は。

**答**

前方不注意による課外の接触事故1件のみで、軽傷で双方の話合いもできている。ヘルメット着用については各学校で、4月に交通安全教室、PTA総会等で保護者への指導を行っている。小学校3、4年生から公道での運転を許可。



**問**

組体操の事故は

**答**

運動会、体育祭で親しまれてきた組体操で、けがをする事故が全国的に多くなり中止や見直しが報告されている。伊佐市の実態は。

**答**

各学校において、実施する種目の安全性、児童・生徒の実態、練習時間の確保、教職員の補助等の安全が確保されるのであれば実施。これは、心身ともにたくましい山坂達者な子どもになってほしいからである。本年においては事故報告はない。

# 小・中学校の環境整備

市長／積極的に検討する

山下和義 議員



**問**

菱刈中は生徒の大幅な減少により広い範囲の整理整頓を余儀なくされ、清掃活動等に生徒の負担が増えている。生徒の学習環境を充実するため校庭等の草刈り等を外部委託できないのか。

**答**

清掃活動は大切な教育活動である。ただ、学校周辺の環境整備等について学校内で議論され、校長等の要望があれば、協議を行い検討する。

**問**

市内の小中学校も児童の減少で保護者だけでは学校環境を守れない時に来ている。コミュニティ等に委託できないか。

**答**

保護者や地域の方々のボランティアでの清掃活動等を大事にしながら、地域の学校であるという側面を大事にし、学校の環境整備等を検討していく。

## 伊佐市暮らしについて

**問**

市外から通勤している先生方や、市内の企業で働いている方々に伊佐に住んでいただくように働きかける時だと思う。具体的に取り組めないか。

**答**

先生方には、PTAの総会等の挨拶の中で市内に住んでいただきたいと願っている。企業等の人事担当者等に、伊佐市の優遇措置等や市営住宅の空き情報等をお知らせし働きかけている。

**問**

喫緊の課題である人口問題の取り組みのための担当課を設置できないか。

**答**

限られた人数で組織を細分化できない。企画政策課を中心に連携して、暮らしやすさをPRしていく。



# 空き家の利活用対策

市長／今後も検討していく

今村謙作 議員

**問**

地方創生において、人口減少に少しでも歯止めをかける意味で、空き家を活用した新婚家庭や新規就労者などの定住促進のための支援制度の拡充とあるが、どのような内容か。

**答**

新婚家庭や市外から転入して6次産業化に取り組む新規就労者などに安く貸し出す仕組みや、空き家をリフォームして宿泊施設や飲食店、小売店等を開設する場合の助成制度を検討する。

また、若い人たちや転入者が、金銭面において無理なく生活がスタートできるように、空き家を活用した居住の確保や、空き家を活用した事業の展開をされる方の支援をするもので、伊佐への移住、定住を支える安心サポートとして検討し

**問**

空き家バンク制度の設立は。

**答**

空き家には、住めき家等がある。当面は危険家屋のほうに優先順位を置いている。

特別措置法に基づき、空き家等の適正管理に関する条例に基づいて審議会をつくっている。その中で協議し、空き家を有効に利用するということを検討していきたい。

また、今後、コミュニティや自治会を通じて、空き家等の実態を把握し、空き家バンクを作ったときに登録される空き家がどのくらいあるのかを整理して、空き家バンク制度につなげていきたい。



▲空き家

# 自然災害時の避難所に問題はないか

市長／改修の必要性を検討する

前田 和文 議員



**問** 高齢化が進む中、トイレは和式より洋式が使いやすい。設備の改修・整備が求められる。それに取り組む姿勢を示されたい。

**答** 地震時の避難場所はある程度限定され

る。水害等に関しては、自助・共助・公助の観点から洋式トイレのあるところ等に早い時間帯で避難していただくことが必要である。



学校施設の安全性は

**問** 市内の各小中学校に訪問調査に向き現場を確認した。子どもたちのハード的な安全面について点検し、いくつか危惧された点があった。対策を問う。

**答** 平成28年度に、全庁的な計画である公共施設等総合管理計画書を策定する。その計画書とともに長寿命化改良事業計画書というものを策定する。これは改修等によって社会的要請に応じた施設の長寿命化を図ろうというものである。

緊急的施設の補修等については、例えば老朽化している施設の中で外壁の剝離落下の危険性が非常に高いものは、学校施設外壁補修事業や漏水工事等を、学校ごとに実施できる計画をしている。

各学校の施設関係で課題があると思われるものについては、現場から緊急に出してもらい、対応するようになっている。



## 問

ヘリコバクター・ピロリ菌（ピロリ菌）

除菌に関してお尋ねしたい。胃がんは早期発見・早期治療で克服可能な病気となったが毎年12万人が胃がんと診断され、5万人が亡くなっている。そして、この数字を減らすことができない。胃がんの原因がピロリ菌であると言われながら、除菌という最優先の対策が放置されてきたからだ。以下の諸点について答弁されたい。

- ①ピロリ菌に対する認識
- ②ピロリ菌除菌の効用と検査項目追加
- ③ピロリ菌検査の方法や経費の額及び検査への助成
- ④除菌が保険適用となったことの周知

# ピロリ除菌で胃がんを防げ

市長／平成29年度を目度に検討

岩 元 克 頼 議員

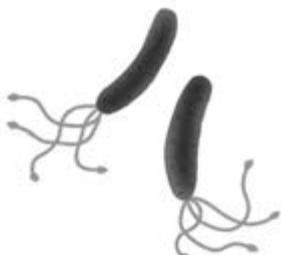
## 答

①については、胃粘膜内に住む細菌のことで胃がんの原因と説明を受けている。

②については、胃がんの予防に役立つとされているが、肝がんの原因である肝炎ウイルス除去が肝がんの発生を激減させたと同様の効果があるのではないかと。現段階で胃がん検診にピロリ菌検査項目追加は難しいとされているが、近年、議論の高まりを受けて検討する自治体が増えている。

③ピロリ菌検査料は3240円でオプション検査を行っている。県内では14市町村で実施され、一自治体で助成がなされている。胃がんの死亡者減少や個人負担の軽減が図られるよう平成29年度を目度として検討する。

④平成25年2月から内視鏡



▲ピロリ菌（イメージ）

# アウトドアへの期待感

市長／魅力ある分野になる

森山良和 議員



**答**

新しい産業を創出するには、やはり時間がかかる。経済の活性化、あるいは企業を起こす、雇用が増える、そういう意味からの期待を最初から多く持つことは幻想に終わるのではないかと。一番の利点は、交流人口が増えるということだと思ふ。雇用に結びつく効果より、市内でさまざまな特産品や、グッズ、売り上げ物が消費される。交流人口によってその購買が高まることへの経済的効果を最初は考えていく。

**問**

市民がアウトドアに親しみを感じ、その波及効果を実感できるまでに変わっていくことが求められていくと思ふ。今後、どのような考えを持ってアウトドアを楽しむまちというのに対して取り組まれていくのか。

**答**

火や刃物、あるいは食、そのようなものに小さいときから親しむことによって、若い方々の中からビジネスチャン

**問** 重点施策である「アウトドアを楽しむまち」には、市内経済活性化へ向けても大きな期待を持つ。新たな産業創出へとつながっていく可能性は考えられるのか。



スを見つけてほしいと願っている。アウトドアというのは今後、私たちが重要視していかなくてはならない。若い人でなければまちは変えられないと思つており、力を発揮できるフィールドがアウトドアだと考えている。老若男女、アウトドアというのは私たちのようなまちには、非常に魅力のある分野になるのではと期待している。

**問**

今後の本市にとつての最大の課題は、人口減少に歯止めをかけ、経済を活性化し、まちを元気にしていくことである。そのためには、どうして行けば良いのか。私はその最大のポイントが、私たちが取り巻くこの地域の経済の活性化にあると考えている。その鍵を握るのは、この地域に入ってくる流入人口を大きく増やせるのかどうか、そのことにかかっているのではないかと。



## 市を代表する

### 「道の駅」を

市長／現在、創る計画はない

市来弘行 議員

地域農業をリードして行く、また、この地域の元気の源となるような拠点の整備が必要ではないか。流入人口の飛躍的な増加を第一の目標として、この地の食と自然を最大に活かして発信する「道の駅」の創設を真剣に考えてみてはどうか。

**答**

3年前に農政課において、物産館の設置に関する調査を行った。各地域の直売所等との関係や、販売する商品の不足、観光客など、見込める範囲が狭い。総合的に勘案すると現時点での建設はリスクが大きいと判断した。現在のところ、直売所、物産館をつくるという計画は持っていない。

昨年の本市への入り込み人口は、約61万人程であった。全体的に伸び悩んでいる状況となっている。しかもその大部分が、通過するだけの観光客となっている。「道の駅えびの」のあるえびの市等と較べても、あまりにも少ない状況となっている。

(えびの市昨年174万人)

# 震度7での 危機管理体制は 市長／震度6強までなら大丈夫

福本千枝子 議員



**問** 熊本・大分を中心とする震度7の地震では多数の死傷者、避難者を出した。災害対策本部として機能を果たすべき庁舎も被害を受けた。本市の築60年の庁舎と市内24ヶ所の避難所は大丈夫か。

**答** 本庁舎は耐震工事をしており、震度6強まで大丈夫だ。針持、曾木、羽月西、羽月、山野のコミュニティ協議会の事務所、新川集落センターは旧耐震基準であり、補強か避難所を変更するか検討する。

**問** 熊本地震を教訓に防災計画を見直すべきでは。そして住民にもっと防災知識を周知させるべきでは。

**答** 県が伊佐市は震度6弱で設定しており、勝手に震度7の防災計画は作れない。住民への周知はコミュニティ、自治会をお願いしてある。

**？** 地域おこし協力隊？で若者を呼び込め

**問** 本市も少子高齢化により、農林業の後援者、担い手不足、若者の流出、高校の存続、商店街の活性化など多くの課題がある。「地域おこし協力隊」を活用し若者を呼び込めな

いか。1年前も提案したが検討したのか。

**答** 要望がなく検討していない。

**問** 国の事業で市の負担はない。過疎化したまちが隊員の活動で元気になった事例がテレビ、新聞で多く報道されている。西之表市では現在9人が活動し成果が見え、この6月で15人となる。伊佐の魅力の情報発信、特産品開発等に活用できないか。

**答** 地域興し協力隊になられる方のがいぐいと前に出る努力があれば成功すると思うが、伊佐市の閉鎖性というものが見えてしまうと、成功しないと思う。



## 防災無線未整備は本市のみ 市長／他の方法で周知徹底できる

畑中香子 議員

**問** 災害発生のおそれがある時点から直後にまず自治体が行うべきなのは住民の安全確保。避難誘導であり、住民がまず求めるのは情報である。防災無線が未整備となつているのは県内全ての市町村の中で本市の大口地区のみであり、時報サイレン吹鳴を行つているのも本市のみである。この状況について市長の見解は。

**答** 防災情報の伝達にサイレン吹鳴、広報車、市職員から自治会への伝達、MBCとNHKのデータ放送、防災メールなどにより周知徹底が図られている。防災無線整備には10億円から15億円かかるため整備できない。

**問** 広報車は豪雨では聞き取りにくく山間部で高齢者は携帯を持っていない方が多い。熊本地震でも、防災無線や広報車による放送を何度も流してほしいとの要望が多かつたと聞く。広報車、メール、自治会の声かけなど全てを併用して、情報が確実に伝わるよう整備を。市民の命と財産を守るという最大の使命を果たすべき。

**答** 多額の費用がかかる。それぞれの自主防災組織を強化してもらうことを一番進めなければならぬ。時報サイレンへの苦情はきていない。

国保値上げすべきでない

**問** アベノミクスによる消費税の増税や円安のあおりで市民の暮らしは苦しい状況であり、国保値上げを市民におしつけるべきでない。

**答** 多額の繰入れをしており、健全化のためである。

**問** 国保は福祉の意味合いが強く繰入れは当然である。

**答** 他の福祉事業と同じように考えることは困る。

# 合併10周年記念誌の発行は

市長／検討していない

鶴田公紀 議員



**問** 伊佐市合併10周年記念誌の発行予定はないか。総合振興後期基本計画に事業名や予算が見受けられないが。

**答** 10周年記念誌は検討していない。事業内容の検討は始めようという話

題にしている。

**問** 旧大口市は郷土誌「上巻・下巻」30年誌、55年誌、旧菱刈町は郷土誌改訂版を合併前に発行。記念式典等の今後の検討は。

**答** 詳細な検討は正式に協議していない。他市の状況を見て、庁内に組織を作る時に参考にしたと思う。

## 公園管理運用は

**問** 忠元公園は台風で百本以上の桜が倒木したが、桜名所百選復活は万全か。芝の養成期間が約三カ月使用禁止であるが妥当か。使用料の減免・免除措置の対応は。

**答** 日本花の会から苗木百本が無償で提供され仮植してある。3年後に植栽予定で桜の名所は復活する。芝は野芝で保護上長い期間を要する。使用料の件は申請書「期間、目的、理由等必要事項」を記入しPR課へ提出。

**問** 重留花公園は、雑草が生い茂っている状況である。今後庁舎建設の考えはないのか。

**答** 今年は花の生育が悪いが、先に生い茂ってしまったが、花広場として管理していく考えである。

その他の質問  
○ふるさと納税関係について



**問** 鹿児島国体カヌー会場周辺の整備、白川橋の改修や国際大会のための拡幅工事が国土交通省によって進められている。市道の湯ノ元橋や、川南栗野線の整備は、どうなっているか。

**答** 湯ノ元橋については、平成27年度繰越予算で温泉配管や水道配管等の、調査設計している。今年11月頃には下流にかける延長110m、幅員5mの仮設道路や湯ノ元橋の撤去工事を発注する。湯ノ元橋と鶴泊橋間の、総延長231mの完成は平成30年度だ。川南栗野線は平成27年度に用地費の支払いを終え、今年度は近く伐採業務委託を行い、10月頃には改良工事、延長340mのうち、150m、幅員6・

# 湯ノ元橋の完成はいつか

市長／平成30年度完成予定

左近充 論 議員

5mほどを発注する予定だ。と、改良されると思う。

## 針持交差点改良を

**問** 国道267号、針持交差点改良を平成27年3月議会で質問し、早速、道路診断もしていたが、どのようになったのか、改良等、市の方でできないか。

**答** 平成27年6月5日、交通事故多発地点特別対策合同現場診断が行われた。

平成27年度、交差点付近車道の中央線と、外側線の内側に、点線の路面表示を行い、市道の入り口には、国道の外側線を点線で引き、交差点付近で減速するなど効果があったと思う。また、民地の樹木や国道の歩道脇のり面を削るなどする



▲湯ノ元橋

# 土砂災害防止について

## 市長／身の安全は自助の精神で

柿木原 榮 一 議員



**問** 土砂災害防止事業の現状と大規模な土砂災害の予想について伺いたい。

**答** 県振興局では、砂防法に基づき指定が土石流危険渓流22のうち11渓流が整備済み、地滑り等

の危険箇所指定ゼロ、指定された傾斜地崩壊危険箇所65ヶ所のうち22ヶ所、要整備として8ヶ所が擁壁工・法枠工で整備、土砂災害危険箇所の整備率は43・2%である。県費単独補助治山事業28件、県費単独治山事業18件等合計68ヶ所の事業を実施、山地災害危険地区389ヶ所の72・2%着手済である。土砂災害警戒区域・イエローゾーン713ヶ所、特別警戒区域686ヶ所あり、自らの身の安全は守るといふ自助の精神で避難を促す。

**問** 水之手急傾斜崩壊危険区域の工事がされたところがあるが、空洞があるが、把握はされているか。

**答** 測量、設計等も行われ、修繕補修工事も予算が確保され、7月上旬には入札すると伺っている。

### 防犯灯LED化促進事業について

**問** 自治会が管理している防犯灯をLED防犯灯に替えられないか。

**答** むらづくり方策でLED防犯灯へ更新して頂き、対応している。

**問** LEDに更新された数、LED灯に替えられた自治会の電気料は、どうなっているか。

**答** 過去3年間で防犯灯184基中166基がLED更新、電気料は把握していない。行政負担は、検討の余地がある。



▲急傾斜崩壊危険区域の看板



**問** 鳥獣処理施設は、今、どのように稼働しているのか。

**答** 有害鳥獣処理施設運営委員会委員5人である。狩猟期間に獲れたイノシシ、鹿を買い取り、運営委員で解体、精肉処理を行い、現在、市内5店舗で販売している。年間の処理実績は、平成26年度がイノシシ20頭、鹿26頭、平成27年度がイノシシ2頭、鹿18頭という状況である。精肉の販売状況は、イノシシの販売は安定しているものの、鹿については売り上げが伸びずに在庫を抱えているという状況である。

**問** 伊佐農林高等学校が豚味噌をつくっているが、そのノウハウを生かして、鳥獣処理施設と伊

## 鳥獣処理施設の運営は

### 市長／伊佐農林高校に相談の必要がある

中村 周一 議員

佐農林高等学校とがコラボして、本当にいい品物をつくっていくことは、考えられないか。

**答** 利用していただくように願っている。伊佐農林高校の活動としては、教育の一環である、学校側に相談するとともに、学校側が教育のプログラムの中に、今、行っているものに追加して行えるのか、あるいは何かと入れかえてやっていけるものか、学校教育上の問題もあると思うので、相談の必要があるかと思う。

**問** 平成31年には高校総体、平成32年には国体が決まっている。伊佐市を売り出す、いいチャンスだと思う。PR活動に使える文部科学省スポーツ庁の補助金がある。この補助金等を使ってPRできないか。

**答** 市政10周年等に向けてどのようなするかを考えていかなければならない。



# 閉会中の議会活動



7月8日 南九州中部市議会議長会  
議員研修会（えびの市）



7月21日 夏の交通事故防止  
運動キャンペーン



7月30日 伊佐市夏祭り  
（伊佐市商店街）



8月4日 市町村政研修会  
（鹿児島市）

## 議員表彰



全国市議会議長会地方財政委員表彰  
（丸田議長）



市議会議員活動10年表彰  
（久保議員）

# 伊佐市議会の議会中継、録画が スマートフォンやタブレットでも 御覧になれるように！！



(平成 28 年 9 月 1 日から)

伊佐市議会のホームページ左のバナーから伊佐市議会をタップ→議会インターネット中継をタップ

## ■ 映像再生プレーヤーについて

議会映像を再生するには、Flash Player プラグインのインストールが必要な場合があります。

## ■ 接続回線について

インターネットへの接続は FTTH (光ケーブル回線)、ADSL、CATV などのブロードバンドアクセス回線 (500Kbps 程度以上の接続環境) でご覧頂く事を推奨いたします。

## ■ 画質が悪い、動画が途切れる、音声しか聞こえないなどのトラブルについて

最適な画質で動画を配信していますが、お客様の回線状況によっては、ご覧になれない (なりにくい) 場合や画質が低下することがあります。

## ■ ブラウザなどの環境について

映像配信サイトは主なブラウザでご視聴いただけますが、ブラウザソフトによっては、レイアウトや表示・機能が正常に行われず場合があります。

## 議会事務局職員紹介

平成28年度の議会事務局職員及び事務内容の紹介をいたします。

議会事務局は市民から負託を受けた議員の活動等が、円滑に遂行されるように補佐する縁の下的な存在であります。また議会と住民のかけ橋的な部署でもあります。

### 【主な事務】

- ・ 議会の本会議や委員会等に関する事務
  - ・ 請願や陳情に関する事務
  - ・ 会議録の調整等に関する事務
  - ・ 議会広報に関する事務
  - ・ 議会予算に関する事務
  - ・ 議長会等に関する事務
  - ・ 議員報酬等に関する事務
- などが主な事務になります。

～ よろしくお願いたします ～



## ありがとうございました！

伊佐市議会だより第30号記念クイズは楽しんでいただけましたか。また、クイズに応募してくださった皆さん、ありがとうございました。クイズの正解は、こちらです。

第1問	A 18人	第2問	B 2人	第3問	C 60代
第4問	B 175億円	第5問	B 11人		

読者のみなさん、全問正解できましたか？

貴重なご意見・ご感想も頂きましたので、一部紹介します。

◎初めての記念クイズ参加で楽しかったです。このような企画もたまにはいいですね。

◎今年度の歳入・歳出予算の中身をみて非常にキメ細かい市政行  
政が実行されていることに感心しました。

◎最近、活気の溢れる伊佐市になりました。

など。

※30号でクイズの応募締切日を掲載せず、申し訳ございませんでした。締切日は、議会閉会日の6月24日（消印有効）とさせていただきます。発表は発送により、代えさせていただきます。



抽選の様子



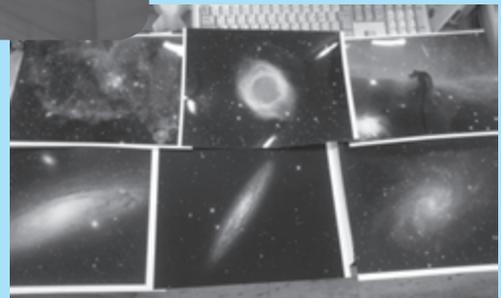
第30号記念クイズ  
応募総数21通!!



A賞 記念撮影  
7月5日の南日本新聞  
にも掲載されました。



賞品発送準備の様子



B賞 天体写真と星座早見盤

# いさかの夜空

5月31日、メディアを賑わしたスーパーマーズ。約10年ぶりの火星の大接近となり、南の空に赤く大きく輝く火星がみられました。

さて、今をさかのぼること139年前。明治10年（1877年）2月15日、西郷軍本軍が鹿児島を発ち熊本に向かい、西南戦争が始まりました。5月5日には西郷軍と政府軍が現伊佐市山野で戦闘、その後あまたの攻防の末、6月29日西郷軍は菱刈本城から撤退することになります。そして9月24日、西郷隆盛は鹿児島市城山で死去します。ちょうどこの年の秋、今年と同じように火星が大接近。南の空に突如大きく赤く輝く星が現れたため、火星と知らない当時の人たちは「西郷星」と呼び、西郷翁の死を惜しんだそうです。

写真・文 左近充 円  
伊佐市菱刈前目から撮影



▲火星（撮影日：7月11日）

## 平成28年 第3回定例会のお知らせ

○定例会は午前10時開会です。

### 9月

1日(木)	本会議(招集日)
6日(火)	本会議(2日目)一般質問
8日(木)	本会議(3日目)一般質問
12日(月)	本会議(4日目)一般質問
14日(水)	本会議(5日目)総括質疑
15日(木)	文教厚生委員会
16日(金)	総務産業委員会
26日(月)	本会議(6日目)

### 10月

17日(月)	本会議(最終日)
--------	----------

議会中継を自宅等のインターネットでも視聴できます。  
(市議会の生中継や録画を映像配信しています)

【伊佐市ホームページ】

↓  
【伊佐市議会】

【議会インターネット映像中継】

大口庁舎・菱刈庁舎・  
ふれあいセンター・まごし館でも  
議会ライブ中継をご覧になれます。



編集・発行責任者

議長  
丸田和時

議会広報等

特別委員会

委員長

今村謙作

副委員長

緒方重則

委員

森久畑山  
田保中良  
幸教香良  
一仁子和

## 編集後記



4月の熊本地震で、甚大な被害により、亡くなられた方、また、被災された方々に、心からお悔やみ申し上げますとともに、お見舞い申し上げます。一日も、早い復興を願うばかりでございます。

暑い夏を迎え、この伊佐市でも、台風等の影響も心配されますが、市民の皆様も災害等には、十分、お気をつけいただきますようお願い致します。

さて、議会だよりも、議会を身近に感じてもらえるように、また、もっとわかりやすく、という思いで作成しておりますが、まだまだ、いたらない点等、多々あると思います。市民の皆様のご理解をお願いし、議会の傍聴にも多数の皆様のお越しをお待ちいたしておりますので、さまざまなお意見を賜れば、幸いです。

本年度から、地方創生ということで、伊佐市でも、人口減少等を踏まえ、さまざまな政策を掲げております。今まで以上に、議会としまして、首長はじめ執行部と議論を重ね、素晴らしい伊佐市を構築していく所存でございます。

伊佐市発展のために、議員一同、切磋琢磨して参りますので、市民の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。すべては、「伊佐のために」です。

今村 謙作